



～自他共栄～ NO.11

2024年10月24日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

いよいよ今週末は

衆議院議員選挙の投開票日！

もう投票はお済みですか？



『自他共栄』No.7とあわせて
読んでください！

10月15日(火) 公示

10月27日(日) 投開票

期日前投票 10月16日～26日



10月15日に公示された第50回衆議院議員選挙は、いよいよ今週末の日曜日(10月27日)に投開票日をむかえます。JR貨物の経営は国の意向によって大きく左右されることから、国会議員の協力は必要不可欠です。また、私たちの雇用と生活、平和な社会を守るためにも、国のかじ取りをする国会議員を有権者が慎重に選び、送り出さなければなりません。例えば…。

1) JR 貨物の存立基盤確立、全国ネットワークの維持:

整備新幹線開業に伴う並行在来線や赤字ローカル線の存続には国や地方自治体の協力が必要不可欠です。※伯備線貨物は、JR 総連の協力のもと、国会議員や自治体への働きかけの結果、存続の道が開かれました。また、経営を支えている「貨物調整金(JR 旅客から経営分離した並行在来線会社の線路使用料を国が負担する制度)」は、2031年以降の財源が決まっていません。

2) 指定公共機関としての使命と外交政策・安全保障問題・憲法改正:

日本への武力攻撃が差し迫った際、国民保護措置(緊急物資輸送)を実施しなければなりません。貨物労組は先の大戦での教訓や、戦争の犠牲者は常に労働者などの社会的弱者であることから、あらゆる戦争政策に反対します。また、平和憲法である日本国憲法の改悪にも反対です。

3) 原発政策:

国は東日本大震災の教訓を忘れ、原発回帰に向かっていきます。JR貨物労組は組合員の生活を守るため脱原発を求め続けます。 Etc.

こうした視点からも、それぞれの立候補者(政党)が掲げる公約を比較し、適任だと思う人知ってましたか？同日実施の第26回最高裁判官国民審査！

物・政党に投票しましょう！！

内閣が指名した最高裁判所の裁判官を国民が直接審査する「国民審査」が、衆院選と同日に実施されます。最高裁の判決によって、私たちの生活にかかわるルールや法律が変わります。過去の判例を参考に、日本の司法が他の権力から独立しているか、しっかりチェックしましょう！

審査対象の裁判官の過去の判例はこちら



裁判所



投票も国民審査もどちらも大切な私たち国民の権利【参政権】です！
「わからないから行かない」ではなく、まずは投票所へ行ってみましょう！！